

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	5-2-3		事業名	ウィンタースポーツミュージアム体験装置・展示品リニューアル			
担当	観光文化局スポーツ部施設課 今野 211-3045						
全体計画							
事業内容	平成22年にオープン10周年を迎える札幌ウィンタースポーツミュージアムについて、ウィンタースポーツの情報発信機能・疑似体験機能を強化するため、ウィンタースポーツ競技団体やメダリスト、競技用具メーカーなどとの協働による展示品の収集・更新と、ジャンプシミュレーター等の大型体験装置の検討を行う。			<年度別の事業内容>			
				平成20年度	・広告・協賛の手法の検討 ・展示品・体験装置の検討 ・観覧者のニーズの把握		
			平成21年度	・最新用具展示更新(以後毎年) ・その他の展示物収集(以後毎年) ・コーナーリニューアル設計 ・ジャンプシミュレーター設計			
			平成22年度	・コーナーリニューアル工事 ・ジャンプシミュレーター改修工事			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	/			/			
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
観覧者数		121,946人	108,922人	100,000人	110,000人	133,800人	133,800人
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
市民との連携、市民参加							
企業等との連携・協働							
[資金協力]							
[人材協力]							
[情報協力]							
[その他の協力]							
市民・企業等が参加しやすい環境づくり							

## 平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	5-2-3		事業名	ウインタースポーツミュージアム体験装置・展示品リニューアル		
評価(成果)			課題			
			<p>本事業のこれ以上の遅滞は、展示品の更新サイクルを定着させ、大型体験装置のリニューアルをオープン10周年となる平成22年度に実施することが難しくなる。</p>			
今後の事業の予定・方向						
<p>平成20年度の予算措置が取られていないため、当初予定していた最新用具展示更新は平成21年度以降となる。リニューアル後の大型体験装置に関する更新・改修について中長期の計画を立てる。 最新情報・用具更新についてはできる限り費用を抑えながら更新頻度を上げることができるよう関係競技団体やメーカーとの連携を強化する。</p>						
事業費の推移						
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	0	3,700	27,800	100,500	132,000
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0	0	0	0
	市債 その他 一般財源	0 0 0	0 3,700 0	0 27,800 0	0 100,500 0	0 132,000 0
予算	事業費	0	0	-	-	0
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0			0
	市債 その他 一般財源	0 0 0	0 0 0			0 0 0
実績	事業費	0	-	-	-	0
	財源内訳					
	国・道支出金	0				0
	市債 その他 一般財源	0 0 0				0 0 0
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				0.0%
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)						
(全体)						
[19年度]						
[20年度]						
<p>展示品更新のための備品購入を予定していたが、予算化されなかったことにより、更新は次年度以降になるなど遅れが出ている。また、当初の予定年度に事業を実施できないことにより、計画期間後半に事業が集中することとなる。</p>						